

かたの



平成24年
5 / 1

市議会だより

議会ニュース 第1回議会定例会を開催

平成24年度の予算を可決

一般会計予算ほか6会計予算



更新を予定している給食センター

第1回議会報告会を開催

日時 平成24年5月23日（水）午後7時から
場所 ゆうゆうセンター 4階 多目的ホール
くわしくは2ページをご覧ください。

目次

- 2 議会ニュース
- 3-7 一般質問
- 4-9 委員会審査のあらまし
- 10 議会で決めたこと

平成24年度の予算を可決

一般会計予算ほか6会計予算

本会議の動き

第1回議会定例会

今議会は、まず、2月29日の本会議において、3月28日までの29日間の会期と決定し、その後市長の施政方針表明が行われました。続いて、人権擁護委員の推薦を適任とし、監査委員の選任ほか11議案を可決しました。

また、「予算特別委員会の設置」を可決した後、「平成24年度交野市一般会計予算」を同委員会に、「平成23年度交野市一般会計補正予算（第5号）」ほか1議案を総務文教常任委員会に、「墓地等の経営の許可等に関する条例の制定」ほか10議案を都市環境福祉常任委員会に付託しました。

3月8日～12日には、施政方針並びに市政全般に対する一般質問を行いました。

た。

12日には「平成23年度交野市一般会計補正予算（第6号）」が追加上程され、可決しました。

14日～19日は予算特別委員会、22日は各常任委員会で付託議案を審査しました。

24年度予算決まる 総額 382億3854万5千円

最終28日は、各委員会の委員長から、付託議案の審査報告が行われ、「平成24年度交野市一般会計予算」をはじめとする平成24年度の各会計予算をすべて可決しました。

次に、「和解及び損害賠償の額の決定」、「一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正」の2議案が追加上程され、それぞれで可

決しました。

その後、議員提出議案として上程された「父子家庭支援策の拡充を求める意見

書」等の意見書9本を可決し、さらに議員の派遣について決定し、今議会は閉会しました。

議会トピックス

議会報告会を開催

市議会では、開かれた議会を目指し、5月23日（水）に下記のとおり、議会報告会を開催いたします。

当日は、各党派議員等から本会議一般質問の内容等について報告をさせていただき予定です。どなたでもご参加いただけますので、ぜひお越しください。

記

- ・日時 平成24年5月23日（水） 午後7時から
午後6時30分から受付
- ・場所 保健福祉総合センター
（ゆうゆうセンター）
4階 多目的ホール



公明党

友井 健二・三浦美代子
新 雅人

安全・安心なまちづくりについて ほか

問 災害時等に市民へ情報を伝える有効な手段の「防災行政無線」の改修・デジタル化は。

答 昭和56年運用開始より市域の状況が変化していることから、市内全域に効率的に情報伝達ができるよう改修（配置場所、設備、デジタル化）が必要。国の第3次補正の支援拡充も有効に活用していく。

問 「緊急エリアメールサービス」の導入は。



防災行政無線のスピーカー

答 携帯電話の主要3業者との契約に向け検討を進めていく。

問 「防災行政無線」で放送した内容を再度電話で聞くことができる「音声自動応答サービス」の導入を。

自転車走行環境の整備について

問 自転車の安全走行やマナーの向上を進める上で、交通安全教室などの啓発活動や安全運転・交通ルール遵守の一役として「自転車免許証制度」を。

答 中学生・おとなを対象とした安全教室の実施および「自転車免許証制度」導入については、警察や教育委員会、交通安全協会とも協議して検討していく。

保健福祉行政の高齢者施策について

問 第五期介護保険料は12月議会で要望させて頂いた通り、中間所得層以下の方々の保険料はこれまでと同額が軽減された。しかし、例えば、年間80万から150万円程度の年金収入だけの方にとれば、まだまだ高く今の減免制度も「年収96万円以下」と10年前の基準で古い。市独自減免制度を今回見直すべきだと思う。

答 4月から見直しをする。140～150万円程度の基準額を想定して詰めていく。

問 小児肺炎球菌ワクチンの公費助成拡充は評価する。しかし、予防接種により入院が36%減少すると言われている高齢者肺炎球菌ワクチン接種について市の考えは。

答 国の動向に注意しつつ、検討の必要性が出てき

ているのではないかと考えている。

星田駅周辺の活性化について

問 「星田交番」の場所が一方通行の所にあり場所的に最適と言えないが検討は。

答 検討の必要はある。警察や大阪府とも相談していきたい。

要望 「星田交番」「星田出張所」「星田郵便局」を星田駅周辺に一ヶ所に移転して、まちの活性化を。

その他の質問

一、 施政方針について（市長の戦略など）

一、 防犯対策（防犯灯、交野警察署、空き家対策）

一、 地域活性化について（交野いきいきマルシェおりひめの駅）

一、 教育行政について（新給食センター、アレルギー疾患対策、学校遊具、トイレなど）

会派無所属 坂本 顕

問 今年になって高齢者や障がい者、核家族の孤立死が相次いでいる。今後も増加傾向にあると考えるが、市の取り組みと考えるは？

答 民生委員や地域による安否確認、電話回線による緊急通報システム（615名利用）、普段の声かけやサロン活動による関係づくりに加え、福祉施設や商店による地域への開放事業を促進し、異変に気付き合える環境を整えたい。

意見・要望 ①東日本大震災については2年目も継続した支援を。②市の機構改革にともない、ゆうゆうセンター1階が工事中であるが、委託先団体等も含めた事前説明・協議が必要ではないか。③被災地瓦礫の受け入れについては慎重な対応を望む。

交星みんな クラブ

浅田 耕一・前波 艶子
兼田 龍洋

行政経営について

ほか

問 地方分権が進み、これまで中央主導であった行政の仕組みが、地方が決定責任、努力を担う仕組みへと変わりつつある。事実、住民に身近なサービスは基礎自治体が担うように変わり、本市においても、府から多くの事務移譲が検討、実施されているが、本市における状況は。

答 将来に渡って住み続けたい町の実現には自己決定できる仕組みは不可欠である。その考えに基づき、府からの事務移譲は検討しなければならぬ。ただし、移譲項目の中には、体制を整えることが難しいもの、また、本市単独ではなく、広域的に調整を行うことで

移譲を受けることが、可能になるものもある。これらの点を総合的に勘案しながら分権時代に即した移譲を受けたいと考える。

要望 今回の事務移譲は、近年では例を見ない改革である。市民にとっても、市役所がより身近になることは大変有益なことであり、万全の体制で事務移譲に臨んでほしい。

教育行政について

問 本来、教育とは「確かな学力、豊かな人間性、健康やかな体」、この3つがバランスよく育まれるものである。しかし、昨今の教育関連の条例制定の状況や、

学力学習調査を見ると、「学力」だけに目が向けられており、この点を大変危惧するが。

答 学習指導要領にも掲げられているように、教育とは「知・徳・体」がバランスよく育まれることであると考え。ただ、学力調査などは平均正答率のみがクローズアップされ、それが学校の評価となりがちであるが、我々は数字だけではなく、学校としての状況の分析、そして課題の把握、解決へと結びつける1つの指標であると考えており、学力の一面だけもって、学校や児童・生徒を評価するものではない。

問 近年活字離れが指摘される中、本市の図書館利用率は年々増加の傾向にあることは喜ばしい結果である。その中で、更なる利用者層の拡大を図る手段としてウェブ図書館があるが、取り組みに対する考えは。

答 ウェブ図書館、いわゆる

電子書籍の貸し出しは、利用者層の拡大に限らず、書籍の破損、紛失、延滞などの問題が解消されることや保管スペースを必要としないことなど、管理・運用面において、大変有効な手段と考える。ただ、導入事例もいまだに少ない上に、導入コストに相当な経費を要すること、また配信コンテンツも十分でないことから、まずは電子書籍の普及やシステム面における開発等の動向を見守りながら、導入に向けた検討を進めていきたい。



倉治図書館

委員会審査のあらまし

総務文教常任委員会 (3月22日)

平成23年度一般会計補正予算など2議案を可決

議案第16号 平成23年度一般会計補正予算(第5号)

▼概要 小学校耐震補強工事等にかかる補正。

▼結果 可決(満場一致)

議案第22号 平成24年度公共用地先行取得事業特別会計予算

▼概要 1億9558万8千円。前年度比較で1952万4千円減。

▼結果 可決(満場一致)

都市環境福祉常任委員会 (3月22日)

手数料徴収条例の一部改正など11議案を可決

議案第5号 墓地等の経営の許可等に関する条例の制定

日本共産党

坂野 光雄・皿海 ふみ
中上さち子

大阪都構想について

ほか

問 大阪都構想は交野市などの周辺自治体を人口30万人規模の中核市に再編する内容となっているが、市長の見解は。

答 国主導で行われた「平成の大合併」の際に反対の意思表示をおこなった。基礎自治体は住民の顔が見える10万人までの規模が最適と考えており、反対と言わざるを得ない。

交野病院の移転について

問 松塚地域にある天の川清掃工場跡地に、老人保健施設逢々館が移転する方向であったが、交野病院の移転に変わったと聞いているが、現状はどうか。

答 交野病院は、平成27年度に新病院稼動をめざし、施設概要を検討している。



交野病院

産婦人科の開設はメドがつくと考えている。病児保育も要望しているが、結論は出ていない。

要 現在の交野病院は、駅に近く、利便性が良い。通院の交通手段を検討していただきたい。

給食食材の放射性物質検査の実施を

問 福島原発事故により、食品の放射能汚染が心配されている。学校・保育所の

給食食材の放射性物質の検査を実施すべきと考えるが。

答 国の対策として、基準値を超えた食品は出荷規制されているため、市場に流通している食材は安全な食材として使用している。

学校給食では、今後必要に応じて、大阪府に検査を依頼することも検討する。保育所給食では、府の検査体制はなく、今後他市の対応状況を調査していく。

星田北まちづくり

問 星田北地域の土地利用について協議されている。営農希望者が、農業を継続するための課題は。

答 農道や水路が未整備であることなど、営農環境の改善が課題である。

要 農地を守るため、市の積極的な支援を求める。

国保料滞納世帯の差し押さえはすべきでない。

問 平成23年度の差し押さえ件数は前年と比べ10倍近くも増えている。差し押さえるの対象となる状況とは。

答 滞納世帯で、収入・財産はあるが少額の分納世帯、及び収入低迷はみられるが不動産を所有している世帯などである。

問 差し押さえ対象は払える収入があるのに払わない悪徳な滞納者を想定したものである。ところが市は、突然の解雇で国保料を払えなくなった世帯の自宅まで差し押さえを行っている。そこまでの必要はあるのか。

答 把握できていないが、生活困窮の恐れがあるので給料口座ではなく自宅の差し押さえを行った。

要 自治体の仕事は制裁や徴収強化策ではない。強引な差し押さえは認められない。窓口では生活保護の案内なども行い、滞納世帯の生活再建を見通した対応を求める。

その他の質問

一、生活困窮者の孤独死へのセーフティネット対策

一、就学援助と奨学金の拡充

▼概要 墓地等の経営の許可等必要な手続きを定めるもの。

▼結果 可決（満場一致）

▼議案第9号 手数料徴収条例の一部改正

▼概要 優良住宅認定事務にかかる手数料等を定めるもの。

▼結果 可決（満場一致）

▼議案第10号 乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正

▼概要 乳幼児の入院医療にかかる助成年齢の引き上げ等を行うもの。

▼主な質問

問 通院にかかる助成も同様に拡大されることを望むため、実施した場合はどのような試算になるか。

答 通院医療費の助成を拡大した場合、約1億80万円必要と試算された。

▼結果 可決（満場一致）

市民かがやき
クラブ

黒田 実・久保田 哲
野口 陽輔

都市計画道路について

ほか

問 施政方針において、事業着手されていない都市計画道路の必要性や事業の実現性等について検討すると述べているが。

交野駅前線、私部倉治線、星田駅前線、郡津私部東線の4路線。概ね25年度中に各路線の方向性を取りまとめた。

答 少子高齢化に伴う人口減少や交通量の減少、また、厳しい財政状況も踏まえ、長期にわたり事業着手されていない道路計画の存続、変更、廃止を決定する。本市では第二京阪道路開通も大きな変化である。

要望 事業化が現実的に極めて困難な都市計画道路は思い切つて見直すべきである、と以前から申し上げてきた。早期計画見直しをお願いしたい。

問 市の都市計画道路の整備状況は。

答 10路線、総延長1万9千10mのうち、整備済みで5千490m、整備率は29%。内訳は、磐船駅前線、星田南線、私部西線の3路線が完了、または完了見込み。一部整備済み路線は、交野山手線、私部東線、星田北線の3路線。未着手が、新

問 府道天の川磐船線の久御山線から第二京阪までの残り区間に、土地開発公社が用地を保有しており、早期整備を望むところである。残り区間の事業着手の時期は。

答 交野の管内において最優先路線とされているが、府全体での優先順位は不明。早期事業着手を府に要請して参りたい。



公社保有の府道天の川磐船線用地（星田北）

人口減少社会への
対応について

問 施政方針で人口減少社会についてふれているが、本市にどういった影響があるのか。

答 高齢化による扶助費の増加や生産年齢人口減少による経済活動の低迷、人口減少や世帯数減少による空き家の増加などが考えられる。本市のようなベッドタウンでは他の地域よりも人口が減少することも想定され、市税減少というマイナスになる。

その他の質問

以下の項目について質問

- ・ 40周年記念事業
- ・ 環境基本計画
- ・ 災害時要援護者支援
- ・ 交番体制
- ・ 公共施設の分煙化
- ・ 待機児対策
- ・ 災害教育
- ・ 公共施設の維持、補修費
- ・ 将来負担
- ・ 公有地の利活用など

議案第11号 公害対策審議会設置条例の一部改正

概要 審議機能の充実を図るための改正。

結果 可決（満場一致）

議案第12号 国民健康保険条例の一部改正

概要 保険料の賦課限度額の引き上げ等を行うもの。

討論 賛成＝大半の世帯で医療分の保険料が減額になることから賛成するものであるが、保険料全体の引き下げのため、一般会計からの繰り入れを求めらる。

結果 可決（満場一致）

議案第13号 介護保険条例の一部改正

概要 介護認定審査委員の定数改定等を行うもの。

主な質問

問 今回の改正は、審査時間を多く取ろうとするものか。

答 少しでも早く行えるよ

自由民主党

松本 直高
片岡 弘子

施政方針について

ほか

問 「協働」かたのサイズ「財政規律」という3つのキーワードについて。

答 まちの課題に多様な担い手とともに向き合う仕組みを広い意味で「協働」という言葉で表している。

市民ができることを実践し、その行動の幅が広がることによって「かたのサイズ」が大きくなる。

相応しいか意見もあるが『第2次財政健全化計画』が「財政規律」である。

要望 「協働」等を明確にするガイドラインの策定を提案する。

問 農業振興策の一環である交野市農産物直売所の利用状況について。

答 毎週、火・木曜日に営業している藤が尾地区では、延べ約11000名が利用している。



藤が尾の農産物直売所

問 地場産農作物の学校給食での利用状況について。

答 平成22年度は、9品目で12,633kgとなり、神宮寺地区の温州みかんや地元農作物を加工した味噌等も納入している。

問 今後の農業振興への取り組みについて。

答 そば栽培・そば打ちといった遊休農地を活用した親子職業体験を開催し、地元農業への関心を高める企

画等がある。

学校給食について

問 新学校給食センター整備の進捗状況と今後の取組みについて。

答 今年度に建設予定地を決定し、平成24年度に基本設計を行い、平成28年4月の供用開始に向けた整備推進を行う。

問 新学校給食センターに設置予定の「個食調理室」について。

答 全児童生徒が給食を楽しく安心して食べられる様にする為、食物アレルギーを持つ児童生徒に対して、アレルギー品目を除去した給食の提供を目的として設置する。

「孤立死」について

問 「孤立死」防止に向けた取組みについて。

答 『災害時要援護者支援モデル事業』として、声かけや挨拶等の日常的な見守り活動を地域で促進している。

「民間活力の導入」について

問 財政健全化計画の「民間活力の導入による効率化」の進捗状況について。

答 民間でできることは、可能な限り、民間活力の導入を進めながら公共サービスの提供を行うことを目指している。

問 「交野版市場化テスト」の導入について。

答 民間の工夫により行政サービスの効率化を実現する有効な手法として認識しており、本市でも適用の可否を検討し、制度を意識しながら業務改善に取組みたい。

まちづくりについて

問 星田北地区等で想定されている土地区画整理事業への財政出動を含めた積極的な支援について。

答 事業での都市基盤の整備について、国や府の各種補助制度を活用しながら、可能な範囲での支援を検討している。

うに審査会の数を増やしたいと考えていることから、委員定数の増加策に至った。

▼結果 可決（満場一致）

議案第19号 平成24年度国民健康保険特別会計予算

▼概要 80億7967万4千円。前年度比較で6億329万4千円増。

▼主な質問

問 特定健診にどの検査項目を追加することが望ましいと考えているか。

答 腎機能や心電図の検査の充実が好ましいと考えるが、財政状況等も踏まえ、検討したい。

▼討論 反対〓これ以上保険料が上がらないよう、

一般会計からの繰り入れと国庫負担の増額を国に求めるよう要望し、本案に反対する。

▼結果 可決（賛成多数）

議案第20号 平成24年度下水道事業特別会計予算

予算特別委員会（3月14日～17日）

平成24年度一般会計予算を可決

議案第18号 平成24年度
一般会計予算

▼概要 一般会計予算は、歳入歳出ともに21億758万3千円で、前年度と比較して2億423万円の減。

▼結果 可決（賛成多数）

▼主な質疑

「Aブロック」

（総務部・地域社会部・会計室・議会事務局・行政委員会事務局の予算）

問 平成23年度よりも平成24年度の公債費が減額されているが、減額の内容及び今後の見通しは。

答 大きく減額となる理由として、過去に発行したゆうゆうセンターの償還終了によることが主な減額の理由である。今後の見通しについては、公債費は純減となる見込みである。しかし、将来的な負担として、

給食センターの建設等大きな事業が控えていることから、増額となることも考えられる。

問 行政委員会の各委員の報酬について月額報酬で支払っている委員について日額報酬に変更することにより、支出が抑えられると考えるが、月額報酬を日額報酬に変更することについての考えは。

答 財政健全化により公平委員会委員の報酬は平成22年度から月額報酬に変更を行った。現在、月額報酬である選挙管理委員会委員は、選挙時に頻繁に公務として出てきていただくことがあり、月額報酬にすれば月額報酬の額を上回る可能性がある。

監査委員は、定例の例月出納検査、随時監査などの

監査があり、監査当日だけでなく、事前に資料を見ていただくということもあり、月額報酬に馴染まないと考えることから、月額報酬とすることは考えていない。

「Bブロック」

（市民部・健やか部（幼稚園を除く）・福祉部の予算）

問 無料クーポン（乳がん・子宮頸がん・大腸がん）の利用率が低いように見受けられるが、利用率向上に向けて、どのような周知や取り組みが行われているのか。

答 対象者にはガン検診手帳と無料クーポンを個別に送付し、随時「広報かたの」にて周知をしている。また、個別通知により子宮頸がん予防ワクチン接種の接種率が上昇しているため、平成24年度は色つきハガキを送付し、さらなる受診率向上を図りたいと考えて

ている。

問 生活保護の被保護世帯数に対するケースワーカーの人数が不足しているが、人員配置に対する考えは。

答 全体的に職員数に限りがある中で的人员配置となるが、今年度も専門的な資格を有している職員の採用を行っており、現在の実情を踏まえ、適正に人員配置できるように次の異動に向けて対応していきたい。

「Cブロック」

（環境部・都市整備部・農業委員会事務局・消防本部の予算）

問 市民は耐震化の必要性を理解しながらも改修費用の負担が大きいことから改修が進んでいないと考えるが、耐震改修にかかる補助金額の引き上げの考えはあるか。

答 制度拡充に伴う費用の増加については、現在の厳しい財政事情を勘案すると困難であるが、現在の補助

▼概要 15億6275万2千円。前年度比較で2億829万4千円減。

▼結果 可決（満場一致）

議案第21号 平成24年度
介護保険特別会計予算

▼概要 43億707万4千円。前年度比較で2億365万2千円増。

▼結果 可決（満場一致）

議案第23号 平成24年度後
期高齢者医療特別会計予算

▼概要 8億8514万1千円。前年度比較で1億3516万6千円増。

▼討論 反対⇐本制度は75歳以上を別枠として保険料を上げていく仕組みであり、制度の廃止を求めて反対する。

▼結果 可決（賛成多数）

議案第24号 平成24年度
水道事業会計予算

▼概要 21億73万3千円。前年度比較で43億4008万9千円減。

▼結果 可決（満場一致）

委員会審査のあらまし

率は維持していきたい。
【要望】 耐震化の支援策として補助の拡大と補助制度の周知にいつそう努めるよう要望する。

問 松塚地区で陥没した河川の補修工事が予算計上されているが、この工事により万全となるのか。また、市内の河川について、道路の維持補修と同様に計画的にできないか。

答 松塚地区の河川維持については、現在、河床の陥没したところを補修しており、24年度はボーリング調査の結果に基づいてブロック積み護岸の補修工事を行う予定である。今後は準用河川を基準に構造物の点検を予算の範囲内で実施し、できる限り順次工事を行なっていきたい。

「Dブロック」

(健やか部(幼稚園)・教育総務室・生涯学習推進部・学校教育部の予算)

問 特別教室のエアコン設



特別教室 (音楽室)

置について、要望の多い音楽室等を優先して設置するのか、それとも一括して設置するのか、今後その方向性をどのように考えるか。

答 音楽教室等単体での設置となるとエネルギー源を電気でということも考えられるが、学校施設の電気容量等の課題もあり、今のところ一括して設置を考えている。ただし、学校の環境整備については行うべき課題が山積しており、エアコン設置を含め今後優先順位をつけながら対応していきたい。

「総括」

(予算全般に関する質問)

問 歳入の確保は、市が取り組むべき重要な課題と考えるが、市は市税等の滞納や未収に対し、どのような方策を持って徴収体制を強化するのか。

答 市税は一般会計における歳入の半分を占める重要な収入源であり、課税したものに對しては、適切に徴収しなければ、公平公正の原則が保てない。来年度は納税の機会を増やすため、固定資産税において口座振替による納税を一層周知するとともに、徴収にあたる人員を適正に配置することで、徴収体制の強化を図りたい。

「討論」

反対討論

平成24年度一般会計予算は、平成22年度から27年度までの第2次財政健全化計画推進の中で作成されている予算との性格をもっており、同計画のなか

で、ゆうゆうバスの削減、敬老金や市独自の医療費補助や障がい者入院時の食事補助の廃止、交通専従員の廃止、がん検診・市民健診の有料化や値上げ、等市民のくらし・福祉にかかる事業の廃止・縮減・縮小を進めてきた。

このような、これまでの市民サービス切り下げを中止し、元に戻すことを要求し、市民のくらし・福祉を守る事が地方自治体の一番の役割と考え、第2次財政健全化計画推進の中で作成されている本会計に反対する。

賛成討論

平成24年度予算については、第2次財政健全化計画を実行中の厳しい財政の中で、妊婦健診の公費負担額が増額となったこと。さらには乳幼児医療費について、入院時の医療費助成を小学校卒業年度末まで対象が拡大されたこと。また、予防3ワクチン接種にかかる公費助成が拡充さ

れること。学校施設の耐震工事が平成24年度をもって完了する予定であることなど評価すべきものがあつた。

今後も財政健全化を確実に進めながら「選択と集中」の判断を誤らず、市民の福祉向上と安全・安心なまちづくりのため、適正に執行されることを要望し賛成する。

賛成討論

平成24年度は市長のCI戦略と題し、様々な取り組みがなされようとしており、市民が日々を安全に、また、快適に過ごしていただきたいとの願いが、第4次総合計画に基づき、少ない予算の中で取り組まれているのが伝わってくる。今後、国・府の動向により益々厳しくなるかもしれないが、市、市議会また市民が一体となって「住んでよかった、住み続けたい。」と思っただけのような交野市であって欲しいと願ひ、賛成する。

平成24年第1回議会定例会（2月29日～3月28日）

案 件 名		本会議結果
諮1号	人権擁護委員の推薦について	適任◎
議1号	監査委員の選任について	同意◎
議2号	公平委員会委員の選任について	同意◎
議3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意◎
議4号	教育委員会委員の任命について	同意◎
議5号	交野市墓地等の経営の許可等に関する条例の制定について	可決◎
議6号	交野市印鑑条例等の一部を改正する条例について	可決◎
議7号	交野市非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議8号	交野市税条例の一部を改正する条例について	可決○
議9号	交野市手数料徴収条例の一部を改正する条例について	可決◎
議10号	交野市乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議11号	交野市公害対策審議会設置条例の一部を改正する条例について	可決◎
議12号	交野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決◎
議13号	交野市介護保険条例の一部を改正する条例について	可決◎
議14号	交野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	可決◎
議15号	北河内4市リサイクル施設組合理約の一部を変更する規約について	可決◎
議16号	平成23年度交野市一般会計補正予算（第5号）について	可決◎
議17号	平成23年度交野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	可決◎
議18号	平成24年度交野市一般会計予算について	可決○
議19号	平成24年度交野市国民健康保険特別会計予算について	可決○
議20号	平成24年度交野市下水道事業特別会計予算について	可決◎
議21号	平成24年度交野市介護保険特別会計予算について	可決◎
議22号	平成24年度交野市公共用地先行取得事業特別会計予算について	可決◎
議23号	平成24年度交野市後期高齢者医療特別会計予算について	可決○
議24号	平成24年度交野市水道事業会計予算について	可決◎
議25号	平成23年度交野市一般会計補正予算（第6号）について	可決◎
議26号	和解及び損害賠償の額の決定について	可決◎
議27号	交野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	可決◎
議員1号	予算特別委員会の設置について	可決◎
議員2号	交野市議会委員会条例の一部を改正する条例について	可決◎
議員3号	年金制度抜本改革の全体像を早期に公表することを求める意見書の提出について	可決○
議員4号	戸別所得補償制度の見直し等、農業政策の立て直しを求める意見書の提出について	可決○
議員5号	日本政府に対し、「関西電力大飯原子力発電所3・4号機の再稼働に対して、慎重に判断するよう」要望する意見書の提出について	可決◎
議員6号	「こころの健康基本法（仮称）」の法制化を求める意見書の提出について	可決◎
議員7号	大阪府が子ども医療費助成の年齢を引き上げることを求める意見書の提出について	可決◎
議員8号	若者雇用をめぐるミスマッチ解消を求める意見書の提出について	可決○
議員9号	父子家庭支援策の拡充を求める意見書の提出について	可決◎
議員10号	公契約法の制定を求める意見書の提出について	可決◎
議員11号	TPP（環太平洋経済連携協定）への参加中止を求める意見書の提出について	可決○
	議員の派遣について	決定

※諮は諮問、議は議案、議員は議員提出議案です。本会議結果の◎は満場一致、○は賛成多数です。

議会の傍聴にお越しく下さい
～平成24年第2回議会定例会の予定～

6月11日（月） 本会議（議案上程）
6月25日（月）～27日（水） 本会議（一般質問）
6月29日（金） 本会議（委員長報告・採決）